

ついにデッキブラシ除草？



親子田んぼの田植えが 6/2-3 で終了しました。会社関係・友人・カブスカウトなど総勢 35 名を超える助っ人にも参加いただき、お昼は各家庭手作りのカレーパーティーでした。おいしかった～。そうそうフランス人ご家族も二組来ていただきましたよ。グローバル～。

そろそろ「親子田んぼ」って名前変えようかなあ・・・グローバル田んぼ？？

山ちゃん田んぼのみなさん鶏糞本当にありがとうございました。間違えて苗床に蒔いていただいたおかげで親子田んぼの苗はすくすく育ちましたよ。

今は稗との戦い中です。田植え終了一週間後には稗がそよそよしてる。えっ！転がしだけじゃ細かいところまでは無理。それでタイトルのデッキブラシが登場。



まだ試験使用中ですがいいかも・・・。

当分雑草との戦いががんばります。おいしいお米に出会えることを祈って。

まつお

ポチたんぼ

根本岳彦

農の会の機械メンテ&指導をしてくれている額田さんの田んぼの一部を8家族で行っています。場所は、小田原市ですが開成と南足柄の境にあります。額田さんはドブロク作りの名人でもあります。その技術を活かし、今年の苗土は発酵させてあるということです。6月6日に植えました。稲の成長が楽しみです。田んぼの中をちよつとのぞくと、オタマジャクシ、タニシ、田ビル、などがうようよいます。もう少しするとナマズの幼魚もあらわれます。こんな生き物達といつまでも米を作ることが出来たら、楽しいことだなあとと思います。ちなみに、ポチ田んぼのポチは、額田家に住んでいたネコの名前だそうです。

はじめまして

私はこの春3月より独立就農を目指し、二宮のぼんぼこファーム

の中村さんの元でご指導をいただき農業研修をスタートしました。

昨年3月11日の震災を銀座のオフィスビルで経験し、当時サラリーマンでしたが、その経験が大きな発端となり自分の人生や社会に対する理解を見直し、今からちょうど1年前の6月に自分が本当にやりたいことをやろうと決意し、勤めていた会社を退社しました。今年41歳になります。

梅の里田んぼの田植え

中原 治美

気持ちの良い天気の中、梅の里田んぼの田植えに家族で、参加してきました。今年で三度目くらいの参加になります。3歳の息子が離れてくれず、今回もたいしたお手伝いは出来ませんでした。私の中で四季を感じる大切な行事の一つになっています。

出産してから、自然に食に関心を持つようになり、田んぼは子供たちにぜひ体験させたいと思っていました。そんな中で、今屋さんが田んぼをやっていると伺い、参加させてもらうようになりました。私自身は、自然の中ではよく遊んだし、畑を手伝ったことはありますが、田んぼは未知の世界でした。しかし、いざ田んぼに行き、カエルの声を聞きながら、皆で作業していると、なつかしいような、とても豊かな気持ちになります。子供たちが生き生きとカエルなどをつかまえているのを見るのも楽しいです。うちに帰ってきて、翌日からの筋肉痛もちよつと新鮮です。。

みんなで植えた稲がすくすくと育ってくれますように！

そして... これからもよろしくお願いします。

楽しい田んぼ
6月10日に家族で
田んぼに行きました。
土があたたかかったです。
きもちよかったです。
でも足にたい物があたっていたかったです。
おたまじゃくしがいっぱいいて
かわいかったです。

自分の本当にやりたいことを突き詰めて考えて行っ
たとき、最終的に仕事を通して「自分自身の喜びと社
会全体の喜びが一致するもの」でないと自分が本当
には満たされないことに気づきました。そこで自分の残
りの人生をそれが可能である農業を通して表現してみ
ようと決意したのです。

あらゆる問題が山積する日本社会ですが、「食」の問題もその大きなひとつと受け止めています。それを支えてきた日本の慣行農法も行き詰まりにきています。有機や自然栽培で育てられた本当に健康な野菜を作り、それを食べた人たちも健康になり、土地そのものも健康になれたなら、こんなに素晴らしいことはないと思います。もちろん楽なことはいずれも未だ想像も出来ない苦勞もあることでしょう。しかし「農業」を社会が抱える様々な課題の解決に取り組む「ソーシャルビジネス」という位置づけで、自分自身が楽しみながら頑張っていきたいと思っています。(渡辺 淳)

なんくる農園では去年から小麦を本格的に作ることにした。約1反5畝分。農林61号、ユメシホウ、南部小麦の3種・・・のはずだったが、南部小麦のはずがなく農林61号のよう・・・今までは農の会の大豆栽培の後に小麦を作っていた。小麦の収穫時期は、田植えや夏野菜の管理作業でとても忙しい時期。しかも梅雨入りの時期で日々変わる天候にやきもき・・・

なんくる農園の土作りは緑肥の活用を基本としている。エンバクやクローバー。夏にはクロタリヤやソルゴーも活用。緑肥とともに栽培する作物の輪作を考慮しながら土作り。土作りに活用される基本的なものはイネ科とマメ科の作物だろう。イネ科の代表としては小麦、マメ科は大豆だろうか・・・ということで小麦を本格的に作ることに。大豆も今年からは増やす予定。土作りをしながら作物を得る。小麦は乾麺を作ったり、今年初めて作ったパン用小麦“ユメシホウ”はパンを焼く人が沢山いるので是非使ってもらえればと・・・我が家のどこかにホームベーカリーがあるはず。本格的にパンは焼けないけれど、小麦が良ければそれなりに美味しいパンが食べれるのではと・・・

大豆はもちろん味噌作りに・・・毎年大豆で15kg分以上味噌を仕込んでいる。出来た味噌は宅配や市で販売。評判は良く足りないくらい・・・来年はもう少し増やそうと・・・今年から始めたお豆腐。なんくる農園の大豆を使って、小田原まちなか市場の仲間の湯河原の豆腐屋さん“十二庵”さんに豆腐を作ってもらっている。今年大豆の量では年に数回程度。値段は少し高いけれど、とても美味しい豆腐。もう少し回数が増やしたいな～沢山作りましょう。小麦や大豆作りのお手伝い募集中！

「野菜でなく、人間に生まれてきてよかったな」

私は、16歳の高校1年生。まだまだ生意気で、すぐに調子に乗るガキんちょ。兄からの影響で、ロックバンドにハマってしまい部活は軽音同好会。もうバンドを組んでいて、私はギター担当。まだ曲が弾けるほどじゃないけど、弾くのはとても楽しい。ギターを見るだけでも楽しい。バンドの仲間とバンドについて語っている時間は、キラキラ輝いていてこのまま時間が進まなさいいのにと。絵を書くのも好き、サッカーをするのも見るのも好き・・・好きなものは数えきれない程あり、毎日が幸せ。もちろん、好きなことばかりじゃなく、やらなくてはならないこともたくさんある。それでも、やろうと思えば何でも出来る。

だけど、野菜(植物)は違う。野菜は蒔かれたところでき生きていけない。同じ場所にずっといる。自分の足で立って歩けないし、声を出すことも出来ない。もちろん、私の好きなギターを弾くことも出来ない。大切に大切に育てられ、食べられておしまい。人のために尽くすばかりで、ちっとも自由じゃない。それは望んでいることかもしれないが、私にしちゃそんな拷問は他にないだろう。

世の中には、人のために尽くしている人はいると思うけど、きつと歩けるし、しゃべれるし、自分で決めることが出来る。野菜より十分自由。人は誰かと繋がっていないと生きていけないから、一人じゃ生きていけないから動けるし、しゃべれるのかもしれない。

野菜は一人でも強く生きていけるからしゃべれないし、動けないのかもしれない。そう考えると、野菜はなんて強く優しいのだろう。そして、人間はなんて弱く自己中なんだろう。これからは、野菜が英雄に見えるだろう。そして、ありがたく食べるだろう。英雄になれたらカッコいだろうが、私は英雄になるより自由を選ぶ。そんな肩書きよりも、自分が決めた道を死に物狂いで自由に歩く人間の方がカッコいいと思う。間違っても自分の人生だし、転んでも自分の人生だって胸をはれる人間になりたい。自分に生まれてきてことを誇れる自分になりたい。その前に、ギターが弾けるようになりたい。

なんくる農園(娘) 松本育美



「カタツムリさんの徒競走」
6年 青沼実穂 作

わたし、カタツムリ。この時期は雨が多くてうれしいわぁ～

どうよ、見つからなかった!

こっちはいるよー

あ～!カタツムリ!競走でもさぼろう!

	1	
	2	カウボーイ
	3	
		よーい、ドン!
	1	まったく、子どもで困るわー↓
	2	

ゆたゆた農園の子育て日記

この通信に載せてもらうのも随分とご無沙汰してしまったような気がします。二人目が生まれてからというもの、毎日が先日の台風のようにすごい勢いであつという間に過ぎていく日々を過ごしています・・・。そんな慌しい中でも畑をやっていると自然と野菜たちから季節をしっかりと感じながら生きています。

2人の姉妹も3歳と1歳になり、最近では2人だけで遊べるようになったりと成長しています。

先月は長女のうみと2人でオクラの種まきをしました。ポットを全部丸く並べたりと、遊びながらでしたが⑤「早く大きくな～れ!」なんか言いながら、一応一通り作業が完了したので、1年前には考えられない事だったなあ・・・と手伝ってくれる娘にひとりで感動していました。

6月中旬には今年も田植えがありました。今年は苗床にビニールトンネルをかけていたせいか、今までになく苗作りがうまくいったように思います。毎年お手伝いに来てくれる人たちと一緒に手植えをしたのですが、今年は4人の子供たちも参加したので初めて田んぼに入ったうみ、初めは「ヘビがいるからイヤだ～」と言っていたけど、入ったら楽しく苗もちゃんと植えていました。来年はもっと戦力になってくれるのかなあ～?とちょよっと期待している母でした。 ゆたゆた農園 おがわ